



伝統的言語文化である漢文の「訓読」の継承と日本漢学の研究

教育学部 教授 竹田 健二

教育学部の授業「漢文学基礎講義」・「漢文学演習」・「漢文学講義」、及び国語科教専攻の専攻別体験学修自主ゼミ活動「漢文学共同研究（漢文学ゼミ）」を通して、質の高い教育を実践することのできる中等学校国語科教員の養成、特に伝統的言語文化である「漢文の訓読」について自信を持って指導することのできる人材の育成に取り組んでいます。

また近年は、近世・近代の日本漢学に関する資料の調査・研究、特に懷徳堂顕彰運動を推進した西村天囚（1865－1924。種子島の西之表出身。東京大学古典講習科中退。大阪朝日新聞社で活躍し、後に京都帝国大学講師、宮内省御用掛となる）に関する研究に従事し、得られた成果を著書・論文・シンポジウム・公開講座等により広く発表しています。2024年7月には共著『鉄砲伝来四百八十年、西村天囚没後百年記念 石碑に学ぶ種子島の歴史』（西之表市企画課歴史文化活用係）、2025年1月には編著『西村天囚研究—新資料の発見・整理と展望—』（汲古書院）を出版しました。

